

尼崎・伊丹・大阪等引札概要

- 1: 文書群番号 076002
- 2: 文書群名 尼崎・伊丹・大阪等引札
- 3: 出所 -
- 4: 家業・役職等 -
- 5: 地名
1. 尼ヶ崎町／尼崎市
2. 伊丹町／伊丹市
3. 大阪市
- 6: 行政区分
1. 尼ヶ崎町／尼崎市
2. 伊丹町／伊丹市
3. 大阪市
- 7: 歴史
引札は、近世には特に江戸で盛んであった。京都・大坂では早くから「ちらし」と呼ばれていたが、江戸ほど盛んではなく、また三都以外ではきわめて稀であった。引札の発行は明治以降全国的に普及し一般化した。明治期頃までは年末年始に店の物や人足を使って顧客に配るのが一般的であったが、大正末頃になると新聞折り込みになり、名称も「ちらし」が定着した。
- 8: 伝来
昭和51年（1976）5月および6月に古書籍商より購入、平成14年（2002）3月に整理・目録作成を完了。
- 9: 史料入手先 古書籍商
- 10: 点数 65点（目録件数64件）
- 11: 年代 明治26年（1893）～近代
- 12: 構造と内容
本文書群は、近代の引札からなる。尼崎・伊丹・大阪の商店のものが中心。他に京都・柏崎・東頸城郡松代などの引札がある。地域別では伊丹町のものが23件で最も多い。次いで尼崎が8件、大阪が6件となっている。京阪神地域外では、新潟県（柏崎・松代）のものが8件ある。業種別では呉服（10件）、塩・醤油・砂糖などの調味料（12件）、燃料（6件）、乾物・青物・干魚（6件）などが多い。
- 13: 関連史料
地域研究史料館には本文書群のほかにも尼崎町商家等の引札五十数点を収蔵
- 14: 閲覧条件 原本
- 15: 作成者 坂江 愛